

～常任委員会の審議より～

総務文教厚生委員会

特別会計予算案について

国民健康保険特別会計予算審査では、ジェネリック医薬品の取り扱い及び前年度繰越金のあり方について議論がありました。後期高齢者医療保険制度は見直しが予定されているため、今後の制度について再度説明を求めました。

災害見舞金等の各種制度の充実と制定について

災害見舞金制度と自主防災組織育成助成金が拡充され、ごみ処理機等の補助が復活しました。また環境推進活動に対する表彰制度が制定されました。

各種計画案の審議について

今議会では、市議会の制定した条例に基づき、第2次勝山市地域福祉計画を審査し可決しました。

また1月に開催した委員会中間報告のあった、環境基本計画の実施計画について説明を受けました。

この計画は同基本計画を具体的に分類し、項目別にスケジュールと目標を定めるものです。

議論の過程では、基本計画を含めて分類方法や目標等について意見が交わされました。

消防・救急無線のデジタル化について

法改正により平成28年5月に向けて消防救急無線は現行のアナログからデジタルに変更する必要が生じたため、具体的な状況とスケジュールについて説明を受けました。

関連して、3月から運用が開始された新指令システムを視察し説明を受けました。

従来のシステムに比較して応答速度が改善され、携帯・IP電話からの通報でも通報者の位置が画面上に地図表示されるようになりました。

画面に表示される情報量も増え、今後他部局との連携の中で必要なデータを入力していくべきとの意見が出されました。

任期付職員の採用に関する条例の制定について

市職員にも、近年高度な専門的知識を要求されるケースが多くなりました。これに対応するため、複数年にわたる任期付職員を採用できる制度です。

採用の要件や適用される条件などに様々な角度から議論が交わされ、弾力的な運用を求める意見も出されました。

建設産業委員会

付託された議案について

簡易水道事業特別会計予算において、大矢谷地区簡易水道統合整備事業については、工事費の算出が適当であるか議論され、特にその工法については今後調査・検討するよう申し入れられました。

水道料金及び下水道等使用料減免実施要綱の一部改正について

昨年の9月議会の委員会でも指摘があったこれら2件の要綱については、減免の対象水量等について一部改正されました。

観光振興ビジョン策定の中間報告について

勝山市観光振興ビジョンは策定委員会を設置し策定を目指す中で、去る2月15日にも当委員会を開き概要の説明を受けました。今回はその意見を反映した戦略の部分の説明を受けました。

23年度に予定されている観光プロデューサーも含めた各種団体の連携はもちろんのこと、勝山市全体が一つになるような仕組みづくりが必要であること、課題としては市民全体が「もてなし」の心を持つことが重要であることなど、様々な意見が出されました。

都市再生整備計画等について

今議会では、都市再生整備計画の変更と都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業について説明がありました。具体的には都市再生整備計画（まちづくり交付金事業）では、勝山駅舎の改修と併せて駐輪場の増設及び消雪路線の拡張を予定しています。

一方、都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業は新たに申請した事業で、中央公園等の公園の再整備を予定しています。

この二つの計画の内容や実施予定の事業が適正かどうか、委員からは様々な意見がありました。

これまで議会からも強く要望していた弁天緑地のトイレもこの事業の中で設置される予定です。



勝山駅前完成予想図